

- ▶ 「青の松原」は、高浜町において人口が集中する和田地区の市街地を海風から守る防潮林として機能するだけでなく、国際環境認証も得ている若狭和田海岸の美しい海岸を縁どるマツ林として景観上重要な役割もち、生活環境の維持と観光資源の双方から重要な松林である。
- ▶ 高木化したクロマツは、近年頻繁に発生する強風等により近接する住宅地に倒れたり枝が落下するなど危険な側面もある。
- ▶ 森林環境譲与税の活用方針としては、青の松原の健全化を図る計画を立案し、松原の将来的な維持と近隣住宅地への危険回避の両立を目指す。

事業内容

青の松原健全化計画

- 令和元年度に実施した各種調査から問題点を明確化
- 健全化の方針を立て、対策案を会議にて情報共有
- モニタリング調査を行い、事業の進行状況を評価

【事業費】 3,058千円（うち譲与税2,962千円）

【事業内容】 クロマツの個体調査／植生調査／キノコ調査
健全化計画案の作成、健全化計画検討会議の開催

【実績】 マツ個体に番号を割り当て情報を電子データ化
R1調査エリア（和田地区/岩神区/菌部区の一部）
実績 1,833本 健全性の調査結果(一部掲載)
生育の不良・枯死 合計428本(全体の23.2%)



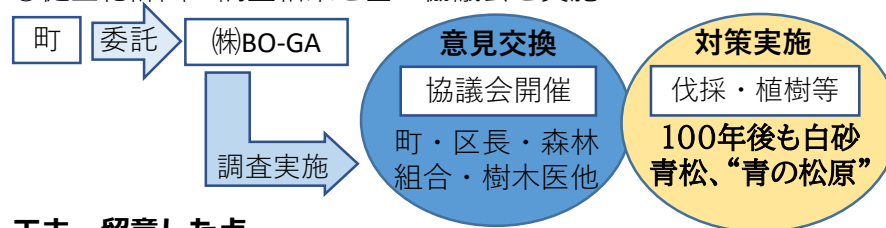
（事業1：現状調査の様子）



（事業2：協議会の様子）

事業スキーム

○健全化計画の調査結果を基に協議会を実施



工夫・留意した点

- ・クロマツの健全性・危険度を踏まえ、優先度の高いクロマツから伐採等を進めていく方針を定めた。また伐採だけでなく植樹や広葉樹への樹林転換も検討していく。
- ・調査対象のエリアには、町有地の他に区有地・個人の土地等が含まれており、対策の実施を全て行政が実施するのではなく、関係する地元団体・次世代を担っていく子ども達と植樹などを通じて青の松原の将来的な維持を実施していく。

基礎データ

①令和元年度譲与額	2, 9 6 2千円
②私有林人工林面積（※1）	1 9 5 3. 3 9 ha
③林野率（※2）	1. 7 %
④人口（※3）	1 0, 5 9 6人
⑤林業就業者数（※4）	6人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より